

モニュメントクロック（オーダーメイド）

セイコーミュージアム 銀座 大型振り子時計「RONDEAU LA TOUR（ロンド・ラ・トゥール）」

2020年 | 東京都中央区



2020年8月、創業者 服部金太郎の生誕160周年を記念し、創業の地に移転したセイコーミュージアム 銀座。ファサード（正面入口）では、全長約5.8m、振り子の長さ4.6mの「ロンド・ラ・トゥール」がゆったりと時を刻んでいます。定刻になると人形と歯車が光の演出とともにオリジナルのメロディに合わせたパフォーマンスを行います。昼間は白い光がこぼれ出し、夜間は季節を表す光が点灯、昼夜それぞれに異なる表情をお楽しみいただけます。

モニュメントクロック（オーダーメイド）

平和記念資料館「地球平和監視時計」

2001年 | 広島県広島市



W800×H310mm

現在時刻を表示するアナログ時計の下には、「広島に原爆が投下された1945年8月6日」からの経過日数と、「最後の核実験が行われた日」からの経過日数が表示されています。新たな核実験が行われる度に最後の核実験が行われた日からの経過日数がリセットされるシーンがニュースや新聞などで報道されることもあります。筐体に組み込まれた歯車装置は、戦争や核開発により人類が破滅へ向かう恐ろしさを暗示的に警告しており、二度と同じ過ちを繰り返させないという決意と平和な世界の実現を願う多くの人々の想いが込められています。

塔時計

明石市立天文科学館

2020年 | 兵庫県明石市



直径6.2メートル（長針3.2メートル、短針2.2メートル）

日本標準時子午線（東経135度）が通過する「子午線のまち」兵庫県明石市。明石市立天文科学館は、天体観測にもとづく天文経度によって導き出された日本標準時子午線上にある「時」と「宇宙」を展示する科学館です。日本標準時子午線の標識を兼ねた地上54メートルの展望塔の塔頂にある直径6.2メートルの大時計は常に正確な時刻を示し、明石のシンボルとして多くの人々に親しまれています。

※「J.S.T.M.」…日本標準時子午線（Japan Standard Time Meridian）の頭文字です。

デジタルサイネージ（屋内）

高松市子ども未来館（たかまつミライエ）

2016年 | 香川県高松市



未来を担う子どもたちの夢と想像力を育むため、成長段階に合わせた学び・遊び・交流など、子どものための施策・事業を実施する施設、「たかまつミライエ」。エントランスのデジタルサイネージでは、館内のフロアごとのご案内や当日のイベント案内、エコ情報などが表示されています。見学に訪れる学校名を表示するウェルカムメッセージでのおもてなしも好評です。

デジタルサイネージ（屋内）

京都国立近代美術館

2015年 | 京都府京都市



京都や関西で活躍した作家による近代美術作品を中心に、多彩な作品を所蔵・研究している京都国立近代美術館。ガラス張りでモダンなデザインの外観も印象的です。エントランスに設置されたタッチパネル式のモニターでは、来場者に各フロアの配置図やワークショップをはじめとするイベント情報などをご案内しています。

デジタルサイネージ（屋内）

三重県総合博物館

2014年 | 三重県津市



三重の自然と歴史・文化に関する資料を収蔵している総合博物館。エントランスロビーにあるタッチパネル式のインフォメーションモニターには、博物館の展示物やイベント情報のみならず、施設の防災設備の紹介や太陽光パネルの発電状況も表示しています。